

# 中山小学校・谷山北中学校

## 令和5年度 共通実践事項 まとめ

教科	共通実践事項 (4段階評価 よくできた・できた・あまりできなかった・できなかった)	今後の課題(来年度)
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文字は漢字テストややり直しを丁寧に繰り返し指導していく。 (できた)</li> <li>・語彙力を高めるために国語辞典をひく。 (できた)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校と中1の定着度調査の結果の共通や活用ができればよいと思います。作文指導と漢字の筆順など。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現力(資料・図・写真・グラフ等を見て、的確に読み取り、特徴等を説明する力)を育成する。 (あまりできなかった)</li> <li>・ゲームやTVのクイズ番組、YouTube等を活用する。 (できた)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと教科書や地図帳にある資料(グラフ・表・写真など)を活用しながら思考力・表現力を身につけさせていくような授業の工夫に努めていくようにする。</li> <li>・なぜ、どうして、と興味がわくような発問ができるようにして自ら解決していくという態度を育てていくようにする。</li> </ul>
算数・数学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計算過程をしっかり書く。 (できた)</li> <li>・学年に応じた基礎学力をつける。 (できた)</li> <li>・筆算は大きく書く。 (できた)</li> <li>・習った漢字はしっかり使う。 (できた)</li> <li>・文章問題は丁寧に読む。(アンダーラインを引く) (できた)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低学力者の計算力アップ</li> <li>・テスト訂正のやり方</li> <li>・自己学習ができない(苦手)</li> </ul>
理科・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験結果をもとに、児童生徒同士で練りあって考察する時間を大切にする。 (あまりできなかった)</li> <li>・小学校・中学校の学習内容をお互いに把握し、つながりを大切にする。 (できた)</li> <li>・実験や観察を極力保証し学習内容や操作技術を定着させる。 (できた)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒同士で練りあって考察する時間の確保には、学年によって取組の差があった。</li> <li>・実験や観察を授業で充実させるには、1年からの指導の積み重ねが必要である。(小学校からの引継ぎも含めて)</li> </ul>
外国語 英語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスルーム イングリッシュやペアトーク・スマートトークを積極的に取り入れる。(よくできた)</li> <li>・既習表現を使う工夫をする。 (できた)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスルーム イングリッシュやペアトーク・スマートトークは、出来れば小中で共通したものが使えるとよい。(復習になる)</li> </ul>
保健 体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体力向上(持久力)に努める。 (できた)</li> <li>・マット運動(後転) (できた)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体力向上(敏しょう性)</li> </ul>

音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌う姿勢を身につけさせる。(頭声的発声も) (できた)</li> <li>・記譜の活動を取り入れる(小6で継続的に) (できた)</li> </ul>	・小学校で、雅楽「越天楽」を聴いていて、中学校との内容の違いを、職員が理解しておきたい。
図工・ 美術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵具の水の入れ方は場所を区別する。 (よくできた)</li> <li>・褒める→自己肯定感を高める→図工を楽しむ (よくできた)</li> <li>・鑑賞の時間を確保する。 (よくできた)</li> </ul>	・さらに美術の授業を楽しめるようになる。
技術・ 家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝食を必ず取る声かけをする。 (よくできた)</li> <li>・家庭での役割を持たせる。 (できた)</li> <li>・長期休みに、親子クッキングや物づくりなどの実習課題を出す。 (よくできた)</li> <li>・学年の発達段階に応じた消費者教育をしていく。 (できた)</li> </ul>	・消費者教育は、教育課程では3年生で取り扱いがあるが、1・2年生ではないため、じっくり取り組めなかった。
特別 支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業参観や教育相談を1年かけて引き続き行っていく。 (できた)</li> <li>・情報共有を行い、中1児童の引き続きをスムーズに行う。 (できた)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の支援学級から、中学校の通常学級に移った生徒のサポート</li> <li>・相互の授業参観の日程調整</li> </ul>
生徒 指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1分前着席、1分前黙想、チャイム前黙想 (あまりできなかつた)</li> <li>・失敗にくじけない子を育てる。 (できた)</li> <li>・聞く姿勢を身につける。 (できた)</li> </ul>	特になし
情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報モラル (できた)</li> <li>・SNS書き込み・画像・動画アップへの指導 (できた)</li> </ul>	・情報モラル講演会、道徳、その都度の指導は実施できた。加えて、全校朝会でも情報モラルについて話題が扱えればと考えている。
保健室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どこで、どうして、どうなったと自分からきちんと伝えられるようにする。(来室時のお話カード(けがや症状の伝え方)を作成してみる) (できた)</li> </ul>	・継続していかないと定着しないため、来年度も取り組みたい。